

2023 年 1 月 10 日

2022 年度聖路加国際大学大学院看護学研究科
課題研究

介護予防を目的とした高齢者自主グループ活動の
運営継続に資するリーダーの技術

Leadership Skills That Contribute to The Continued Operation of Voluntary Group
Activities for The Elderly for The Purpose of Preventing Nursing Care

21MN041

渡邊 佐季子

要旨

目的：本研究は、介護予防を目的とした自主グループのリーダーが、グループ活動の運営継続のためにどのような技術を用いているかを明らかにすることを目的とした。

方法：3 グループのリーダー6 名を対象とし、半構造化インタビューを実施した。得られたデータをグループごとに、質的記述的に分析した。なお、本研究は聖路加国際大学研究倫理審査委員会の承認を受けて実施した(承認番号：22-A005)。

結果：合計で 12 カテゴリーが抽出され、グループごとに異なる技術が明らかになった。グループ X のリーダーは【高齢者やその家族に対して、活動の趣旨や信頼性の伝わりやすさを重視してグループを宣伝する】、【参加者の身体面や経済面への負担を最小限にして継続参加へのハードルを下げる】及び【オンラインと直接的な連絡手段を併用し、全員と交流を持てる方法を探る】の 3 カテゴリー、グループ Y のリーダーは【参加者が積極的に取り組むようなグループ活動の進行を仕掛ける】、【参加者とリーダー双方にとってのグループ活動の意義を模索し続ける】、【リーダー間でアイディアを出し合い、参加者が求める活動内容を探りながら試す】及び【リーダーとしてグループに加入してくれる人を地域の中で人脈を広げて探す】の 4 カテゴリー、グループ Z のリーダーは、【グループ活動の重要性に対する参加者の意識を高め、一体感を作る】、【行政職員や住民組織と交流を持ち、グループ活動への協力体制を築く】、【参加者にとってのグループ活動の意義や役割を見出し続ける】、【参加者の自主的な役割分担を引き出し、グループ活動に対する貢献意欲を高める】及び【参加者を飽きさせない活動内容を創造する】の 5 カテゴリーで示す技術を用いて、グループ活動の運営を継続させていた。

結論：リーダーの技術には、グループの企画・運営体制や目標、グループ活動に対する住民の関心度やグループと住民組織・行政の交流の有無といった、グループや地域の特性が関連していた。リーダーは、グループ活動を継続させる意義を自ら見出すことにより、グループ活動を継続させる動機や原動力にしていたと考えられた。また、グループや地域の特性に応じた技術を用いることで、参加者の主体的・継続的な参加を促すことや企画の工夫、グループ活動に対する地域住民や参加者の意識の向上、行政や住民組織による協力を得ることをし、グループ活動の運営を継続させていた。保健師には、グループや地域の特性に合ったリーダーへの継続支援として、グループ活動の特性に応じた具体的な工夫を伝えることや、グループが地域のキーパーソンや住民組織、行政からの協力を得て活動できるように、自主グループ活動に対する地域ケアシステムを構築・強化するという視点を持つことが重要であることが示唆された。